白縫物語
作題曲之部
三十二編上
へ13
1178
63
柳下亭種員作
歌川國真画
三十二編下
へ13
1178
64
廣幸
壽樟

白縫物語

作題曲亭馬琴

三十二編上

へ13
1178
63

特 へ13 1178 63

柳下亭種員 作

白縫物語

三十貳編

上冊廣岡

屋幸助板

壽高國貞 畫

世間漸く小利根ゐなり人心も切急ゐや三十一字より發句が流行
淨瑠璃や長唄よりも今で光くゑ酒も喫ぶ長柄の銚子ハ往古よ
り頸の短い陶壺ゲ當世百日紅ハ觀る人ゐく櫻し日ハ昼夜顫蕩さ
うゐと思ハ〻さうでもなく其三月の遲日と壽命の長きゐ飽ハゐく矣話
も續物語合卷勿論編數を嗣ねバ妙ことといとれぬ時勢ハ百屋
の椽下なゐねど長いも或ハ短いも其ハ事ゐより物ゐよりと
赤間の口車ゐ因て出す格紋の硯石ゐの壽も世をのべ
計ゐるといふに肖り末永く御高評ゐあづかるとあるゲ
中ゐも此白縫命ゐみて骨折し故人ハ万客もゐすゲこの
ゑの〻ゐ

辛酉新版

柳下亭種員

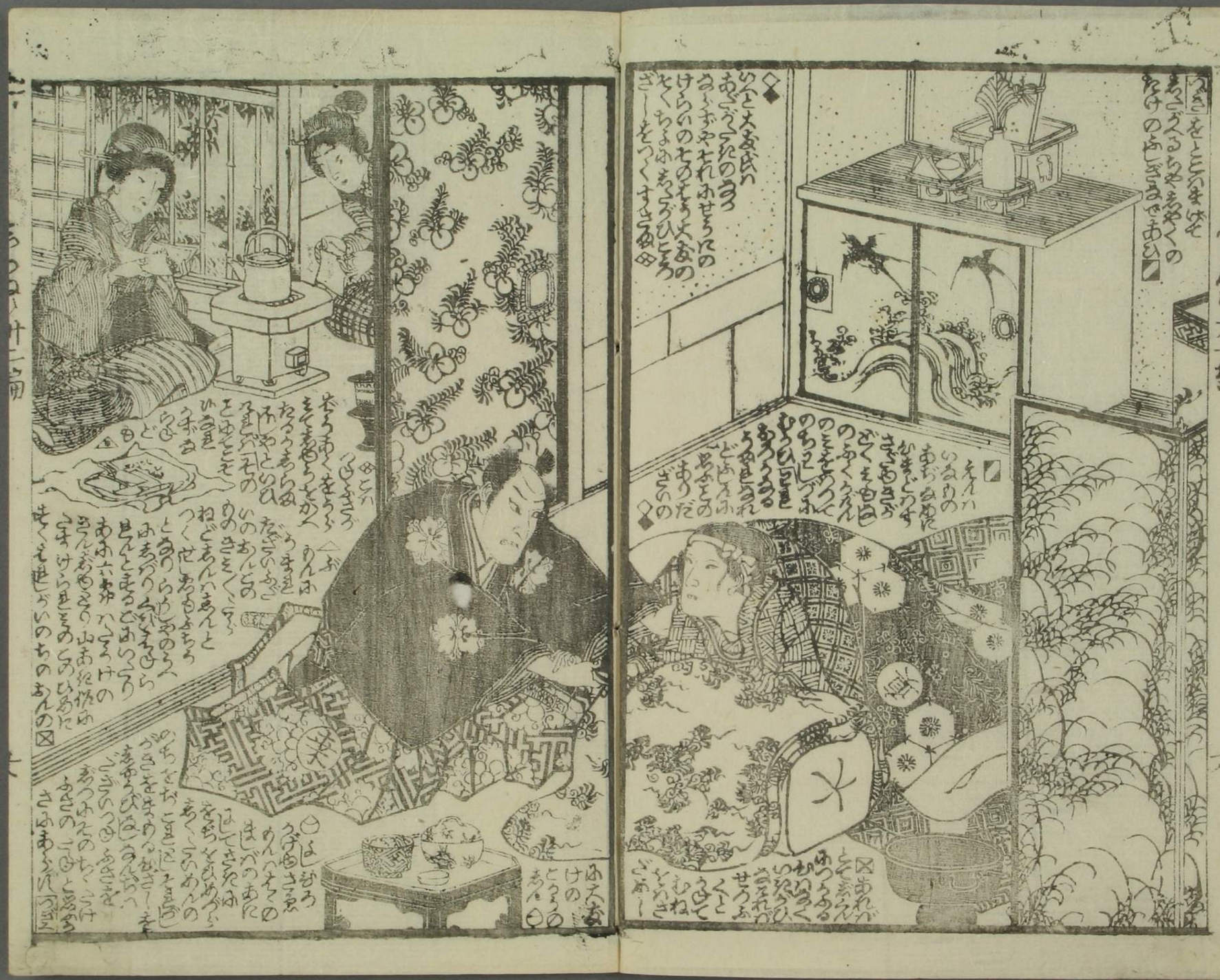
長門國下關
稲荷町
遊君揚羽
三筮山
伊達五郎
憶細場
應西隠毒
紫門刷
制寄發
田僻

若
自

月
人

七
若

遐通壹體



七

種員作
國貞画

下卷

志つくぬひ彈

名品四編ノ御 草雅彦作
全編ヲ一惠齋芳幾画

兩面織花田物語 初編ヲ同 五編迄 同 作 画

假名淺八犬傳 三十編ノ假名垣誉文録 三十五編ノ朝露巷方夢画

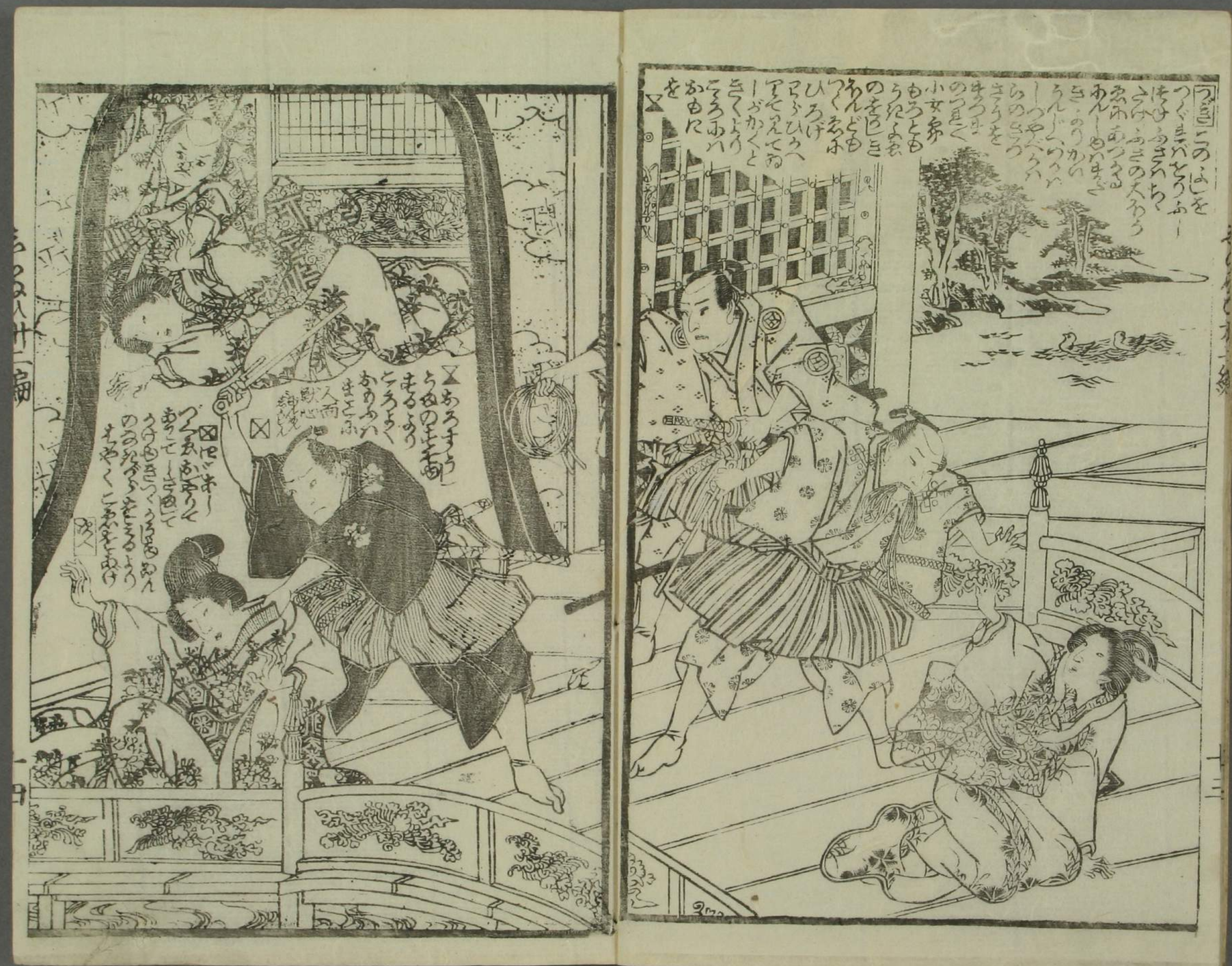
古今俳優似顔大全 故豐國公羽筆 天錦 白三番續

太平記英勇傳 中錦山々亭有人記 百番續 惠齋芳幾圖

へ13
1178
64

特
1178
64

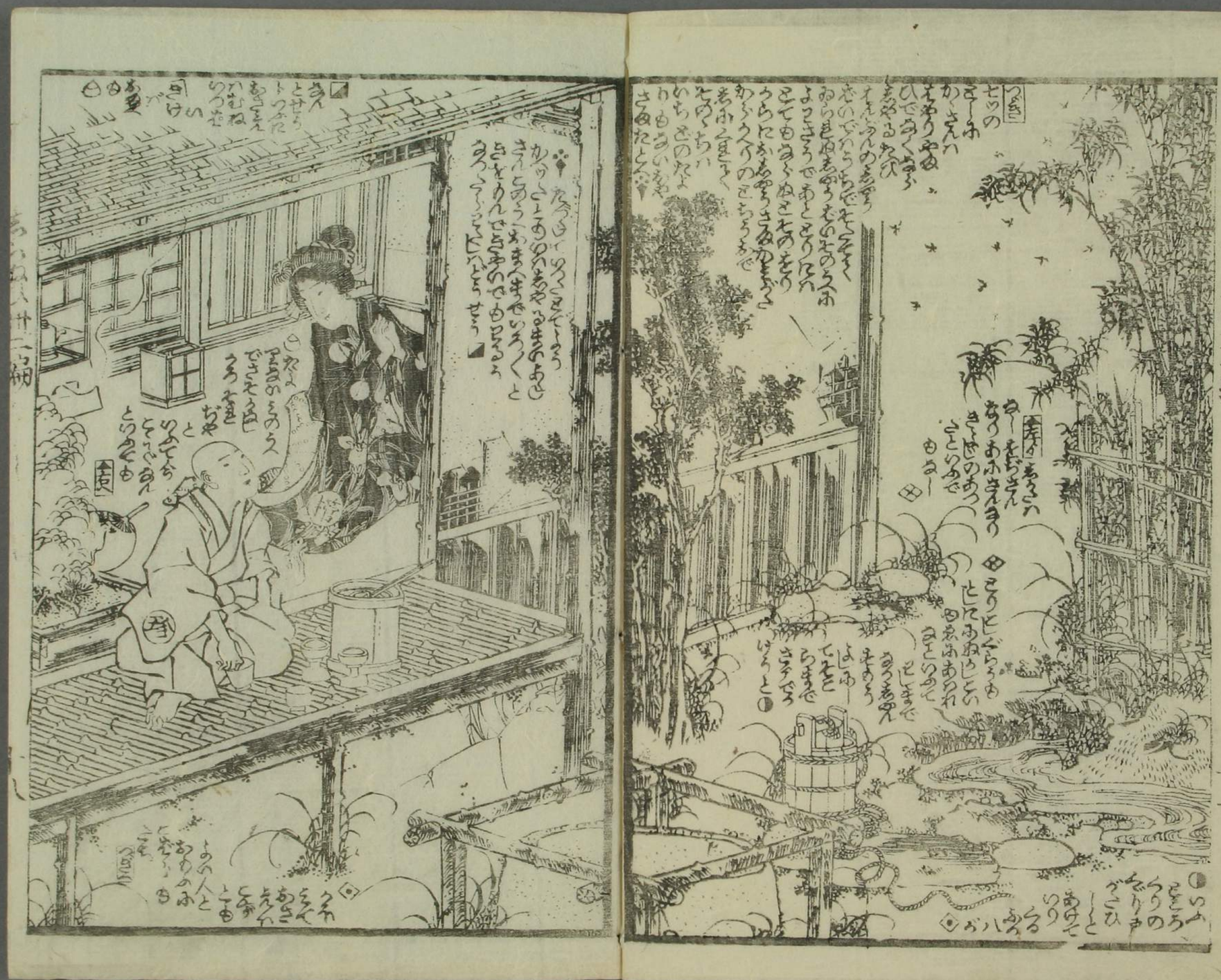
柳下亭種員作
歌川國貞畫

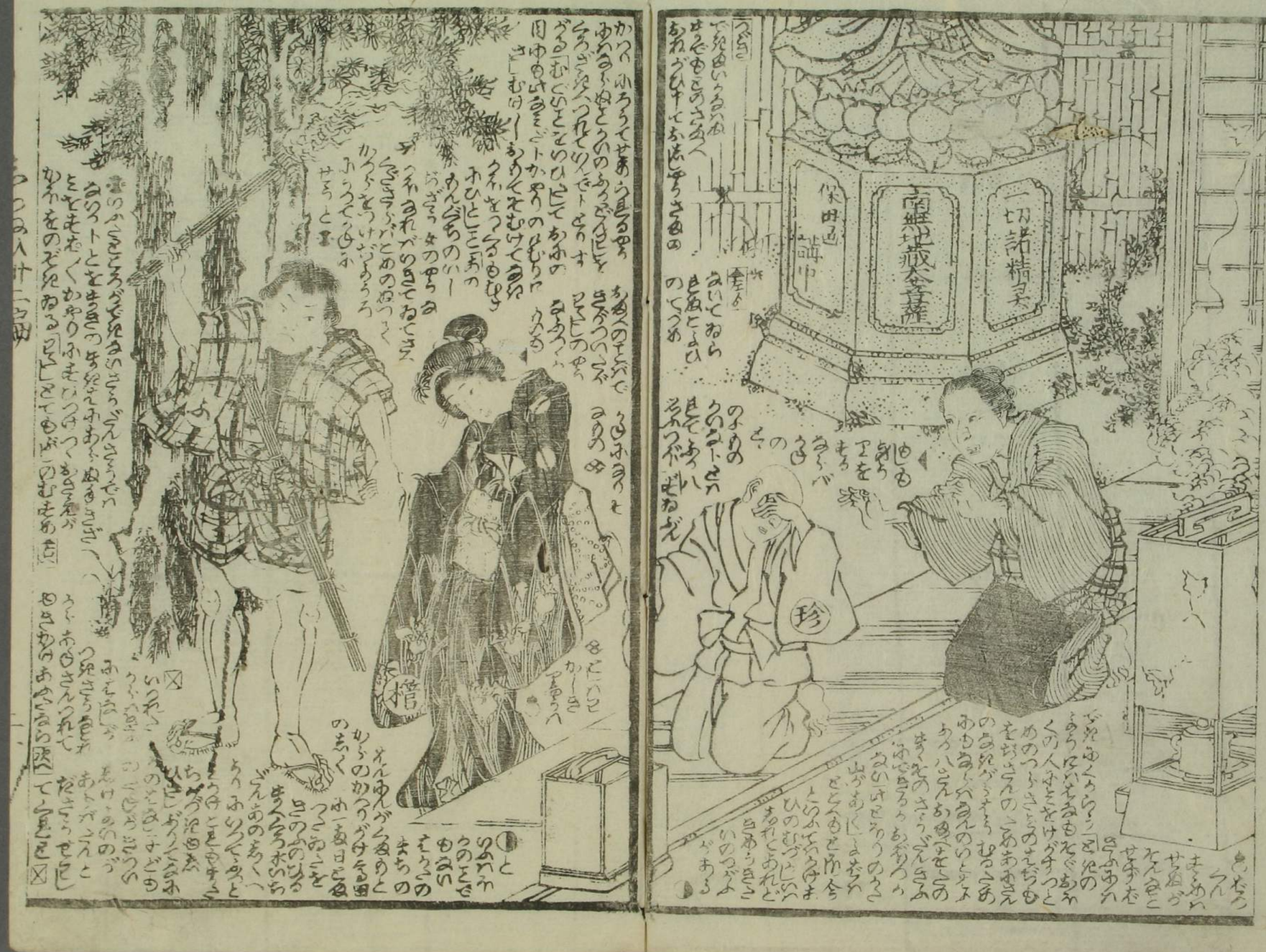

つゞき
このはしを
つくまいをうふー
はやふさいち
さいふさの大ろう
あれあつるる
ゑんしゆいまぐ
きゝのりかい
うんじゝうくい
しつやくくい
らのさうう
さうをを
もろまく
のつまく
小女房
もろともも
うれふゑ
のを巳き
ゑんども
つくゑは
ひろげ
てふひろへ
アそえてる
しがかくと
きくようう
ころふれ
ふもに
を

あろすう
うぬのを
まるより
ころよく
ありふハ
まとふ
入両
駄心
神ゑ
ぴゝぼー
つくふあろそ
まつて一ぢ巳て
うけもきつくう
のふがらを
まやくこあをとあけ

不評茶酒

元仁元年甲申
歳次龍集
光珠山極楽禅
寺五世現住




一切諸精霊
南無地蔵菩薩
保田屋
珍
梢

柳亭種彦校

柳下亭種員稿

梅蝶樓國貞画

名譽の長編八
柳亭金輪
名譽の年中行事

浪速黄金魂

三編

細川幽斎事蹟
小夢亭有人
惠齋芳綱合
稲葉玄惠
水作同文作

一対男の深情にて長作地獄の様なる作林あるべき七軒人が一回五話を持きりの合作全備の三編冊

同一部五冊如泉作三編冊

善文作同

水作同

同一部五冊芳義作同

同

同